

指導箇所を細かく記載しています。

必ず内容を確認し、音源等を活用して復習した上で、次回の練習に参加してください。

○11月8日練習報告

8日の練習は予定表の通り、レディヤンかすがいにて井村先生のご指導、ピアノ竹内先生、松下先生立ち合いで行いました。

前半 レ・ミゼラブル「民衆の歌」

民衆の歌については今までのご指導と同じ内容でした。

合いの手に関して、「言葉に対応した反応を」というご指導がありました。

20,21,22小節の休符に対しても「ここはやらんのか?」という感じてしたので

合いの手を入れていただいでよろしいかと思ひます。

いずれにしてもカウントで反応せず、早めの反応をするようにとのことでした。

10小節目男声 列にの「れ」 しっかりあてましょう。

16小節目全員 たたかうものの 1つずつしっかりと

その先の ドラムの「ド」、ひびきあえばの「ひ」、あらたにの「あ」などしっかり歌いましょう。

日本語の第九およびふるさとについては今後の練習で取り上げていきます。

日本語の第九については第九 M の部分のメロディですが、日本語になるとドイツ語歌唱時のような音圧がなくなってきますので、ドイツ語を歌っているように日本語も歌唱しましょう。

楽譜の準備をお願いします。

後半 第九

冒頭より二重フーガまで取り上げました。

「たこ焼き」というワードが出てきました。文章では表わしにくいので練習で確認していくようにしましょう。

この先

15日松下

22日鈴木先生

29日松下

3回練習があり、30日オーケストラ合わせ、12月6日前日リハーサル、7日日本番となります。

体調に気をつけて、集中して練習にご参加ください

【持ち物】前曲の楽譜、第九の楽譜（日本語のものも）、アンコール（歓喜の歌・ふるさと）の楽譜（お持ちの方）、筆記用具、録音機器（必要な場合）、水分補給用の飲み物

<注意>①練習時にアラーム音・着信音で練習が中断する事態が度々生じています。

携帯電話等は電源を切るか、機内モード、マナーモードにするなどしてください。

<注意>②練習に遅れて参加する場合は、練習の妨げにならないよう気を付けて会場に入ってください